

育てよう 一人一人の人権意識



おとなしい子、活発な子、どんな子どもも人として生きて行く権利を持っています。子どもたちや保護者の人権意識を高めていただくため、高浜市人権擁護委員、高浜市子どもと大人の関係を考える委員会などが、地域人権啓発活動活性化事業により講演会などを企画し、子どもの人権啓発活動を行なっています。

～いじめ、虐待から身を守る (園児ワークショップ)～

市内の保育園・幼稚園などの5歳児を対象に、あいちCAPによるワークショップ(参加型体験学習)が行なわれ、子どもたちは、人形劇を見たり、短い劇に参加したりして、安心・自信・自由の権利を守ることを学びました。



◀森田ゆり氏

～「すべての子どもに安心・自身・自由を！」 森田ゆり氏講演会～

11月2日、いきいき広場で開催された森田ゆり氏(日本にCAP(子どもへの暴力防止)プログラムを導入した)の講演会には、多くの方が参加して、子どもの人権について学びました。

まちの話題

11/26
(水)

タスキと一緒に想いを繋ぐ 愛知駅伝結団式

12月6日開催の愛知万博メモリアル・第3回愛知県市町村対抗駅伝競走大会の結団式が市役所で行われ、第6区を走る尾上拓也君が、「高浜市代表選手一丸となり、第1から9区までタスキを繋ぎます」と市長に宣誓しました。代表選手は各区間2名ずつ、9月6日に行われた選考予選会で選ばれ、大会まで市内で練習を重ねてきました。

榊原英司監督から、「昨年よりも一つでも良い順位をねらいませう」と力強く話してくれました。



11/27
(木)

愛知衣浦名バッテリー 世界大会へ

愛知衣浦リトルの坂田圭扶君(ピッチャー)と、新田翔哉君(キャッチャー)のバッテリーが台湾の台北市で行われる国際野球大会の日本代表に選抜されたことを市長に報告しました。「いろんな国のバッテリーを相手にするので、球のコースを変えながら打たせて捕るピッチングをしたい(坂田君)」「世界中から良い選手が集まるので、他の国のプレイを学んでいきたい(新田君)」と、意気込みを語ってくれた二人。リトルリーグを卒業しても、再び彼らの活躍が見られる日も遠くないことでしょう。

